

点灯虫HL220(ランプシステム)の組立説明書兼取扱説明書

このランプは、内蔵されているセンサーにより走行中の明るさを感知し、自動的に点灯と消灯を行ないます。それぞれの部品の組み付け方法は以下のとおりです。

また、ランプの点灯についても記載しています。組み立て後は、お客様にお渡しください。

▲ 注 意

- ハブダイナモは、発電量が高くなっています。車輪を回転させた状態で、絶対にハブダイナモのコネクターに触らないでください。感電する恐れがあります。
- 走行開始や低速時には点灯にちらつきが発生します。
- ハブおよびライトは分解しないでください。故障の原因になります。

1. 前輪の組み付け

❶ 強 制

- ハブダイナモのコネクターを進行方向の右側に組み付けてください。(図1)
- 前ホーク爪とハブダイナモの間に、必ず歯付座金を入れてください。(図2)
- ハブナットは、ねじの焼付きを防止するため、同封の専用ナットを必ず使用してください。(図2)
ハブナットの標準締付トルクは $20\text{N}\cdot\text{m}$ ($200\text{kgf}\cdot\text{cm}$)です。
- ハブナットは、ハブ軸の共回り防止のため、交互に締め付けてください。(図3)

(ア) バスケットステー装着車の場合

ハブダイナモのコネクターの方向をバスケットステーに沿わせ上向きに組み付けます。(図1, 2)

(イ) ハブナットの締め付け順序

ハブ軸が共回りしてコネクターの向きがズレないように、左右のハブナットを3~4回づつ分けて交互に締め付けてください。(図3)

特に、片側のナットを集中的に「締め付け」または「緩め」を行うと、ハブ軸が強制的に回されて、ハブ本体のロックナットが緩んだり、締め込み込んだりしますので注意してください。

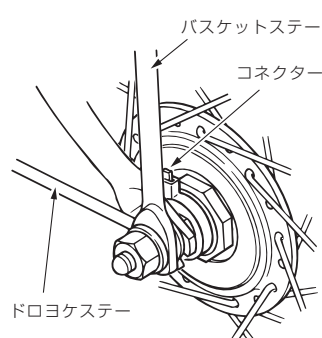


図1

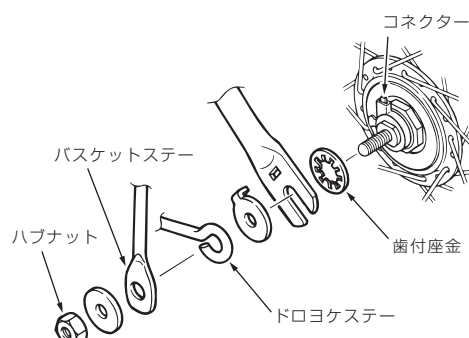


図2

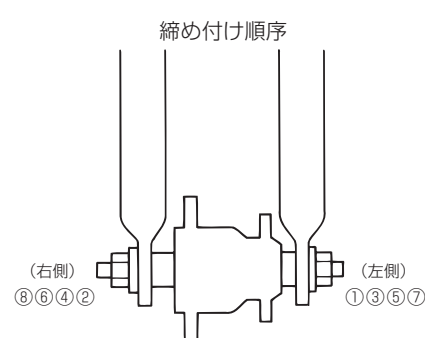


図3

2. ランプヘッドの組み付け

ランプヘッドはバスケットブラケットに組み付けます。(図4)
適度な角度に向きを調整して、しっかり組み付けてください。
(締付トルク $5\sim 8\text{N}\cdot\text{m}$)

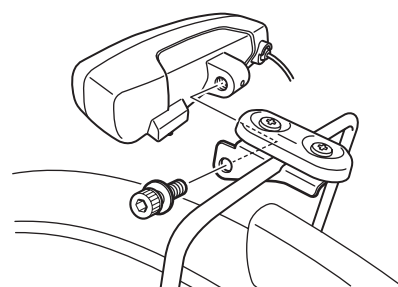


図4

3. ハーネスの配線のしかた

バスケットステータ装着車の場合

①ランプヘッドのハーネスをバスケットステータに巻きつけるか沿わせて、コードクリップでハーネスを固定します。(図5)

②ハブダイナモのコネクターにハーネスの端子を接続します。

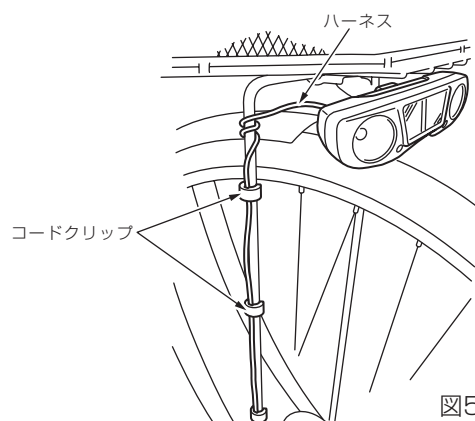


図5

4. ランプの点灯

ランプ本体にはメインLEDとサブLEDがあり、スイッチの切り替え、走行状態、周囲の明るさによって、各々が次のように点灯・点滅します。(図6, 7)

なお、停車時におけるサブLEDの点滅時間は、走行中に蓄積された電力量により変動します。

ランプ点灯・点滅の状態

切替スイッチの位置	走行中		停車時	
	明るいとき	暗いとき	明るいとき	暗いとき
D.OFF	消灯	メインLEDのみ点灯	消灯	サブLEDのみ点滅
AUTO	サブLEDのみ点滅		サブLEDのみ点滅	
ON	メインLEDのみ点灯			

5. 点灯の確認

このランプヘッドには切替スイッチがついており、それぞれのスイッチ位置でランプの点灯・点滅を確認します。(図7)

①ONの位置：前輪を回してメインLEDの点灯を確認。

②AUTOの位置

②-1：ランプヘッド下面のセンサー受光窓（切替スイッチ右の丸い窓）に光を当てた状態で、前輪を回しサブLEDの点滅を確認。

②-2：センサー受光窓を手で覆い、前輪を回してメインLEDの点灯を確認。

③D.OFFの位置

③-1：センサー受光窓に光を当てた状態で、前輪を回しメインLED、サブLED共に点かないことを確認。

③-2：センサー受光窓を手で覆い、前輪を回してメインLEDの点灯を確認。

点灯しないときは

①接続部の接続状態を確認してください。

②歯付座金が十分に塗膜を突き抜けているか確認してください。歯付座金が塗膜を突きぬけていない場合は、若干塗膜を削り取ってください。

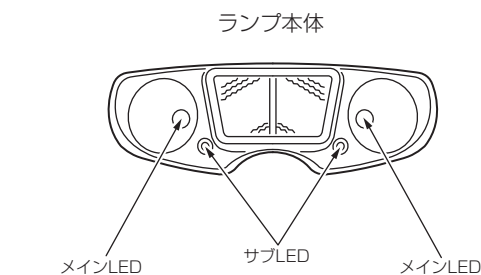


図6

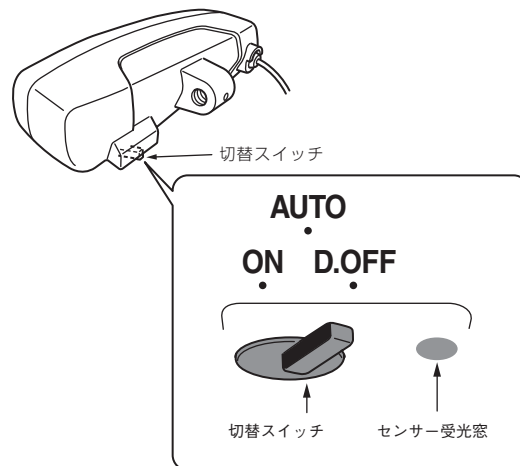


図7